北信五岳、志賀の山々、さらには菅平、浅間、聖の山を挟んで善光寺平が展望できるコース

陣場平スカイコース（総延長:6.2km・所要時間:約3時間）
地蔵峠 −800m− 陣場平山三角点 −140m− 陣場平山の家 −400m− 葭雲神社 −600m− 朝日城跡 −800m− 坪根峠駐車場 −250m−（林道陣場平線）−3200m− 地蔵峠

北アルプスと川中島平を一望し、この地の歴史を学習できる散策コース

荻野城コース
（総延長：2.0km・所要時間：約1時間30分）
地蔵峠 −980m− 荻野城跡

矢口と地蔵峠の間の三十三番観世音が見守る観世音ルート

地蔵岩ルート
（往復：3.2km・所要時間：約2時間）
矢口駐車場 −1,610m− 地蔵峠

※ 犬戻り坂は急坂ですので足下に十分注意してください。
※ 標高差がありますので、時間に余裕をもって散策してください。

1 **地蔵峠**（標高1143m）

七二会平出集落を経て戸隠平出・王台方面に通ずる陣場平山越えの峠道があり、登りつめた鞍部を地蔵峠といい、又の名を中峠、或いは向峠ともいう。峠の北は戸隠祖山地区である。

かつて峠越えの道は戸隠参道あるいは松代への通り道でもあり、表と裏の村々を結ぶ物流の要路でもあった。

2 **官有地下戻記念碑**

明治6年(1873年)地租改正法が交付されその際、時の戸長が民有地であるべき入会地を「公」も「官」も同意語と解釈し、「官有地」と誤記したため、共有入会地は一夜にして官有地となり、住民の立ち入りが禁止された。

長い下戻し運動の結果、明治36年(1903年)3月5日ようやく農商務大臣より「官有地下戻し」の許可を得た。入会山下戻し運動を永遠に記念し明治39年11月に建立された「記念碑」である。

3 **陣場平山三角点**（標高 1257.5m）

地蔵峠の東方へ約600mのところに、1等三角点（国土地理院）がある。

この山の三角点は、他のものと違い三角点の上面が「十」となっており、「十」に「V」が付いており、全国的にも珍しい変わった標石とも言われている。

4 **陣場平山の家**

青少年の健全育成の一環として、昭和44年建設されたものであるが、時代の変化により利用者減少のため平成15年度増築部分である一部を残し、トレッキング、自然探勝者、各種団体等の避難所・休憩所として地元管理の下に活用を図っている。

5 **あずまや**

陣場平山は、標高1,257.5mを主峰とし、西に1,143mの地蔵峠、東に1,247mの葭雲神社の峰等からなり、東西およそ2キロの馬の背状の山一帯を称し、七二会地区の屋根でもある。四季折々には変化に富み、木々の間からは北アルプス連峰、戸隠、飯綱、黒姫、妙高、志賀の山々、更には菅平、浅間、聖の山を挟んで善光寺平が展望できる。

6 **葭雲（よしきり）神社**（標高1247m）

陣場平山一帯の東峰に位置し、古代から飯綱信仰のひとつとして栄えた社で「葭雲神社」と称し、飯綱神社の前宮と伝えられ、保食神（五穀の神）を祀り、岩石を積み上げた洞の中にご神体が祭られている。毎年5月11日の直近の日曜日には、坪根・倉並両区の人々によって例祭が行われている。

7 **義民顕彰碑**（白山大明神）

陣場平山一帯は、入会地として多くの人々の草刈地や薪炭の採取地として利用されてきた。このため、入会地の権利を巡って何回も何回も争いが繰り返されてきた。

この石碑は、入会山を文字通り身をもって守り続けながら、敗訴となり、刑場の露と消えた峯村伊兵衛の御霊を祀る石碑で、坪根、黒沼村の人々が義人の魂に思いをはせ、「白山大明神」と命じて石碑を建て、長くその遺徳を語り伝えてきたもの。

8 **朝日城跡**

陣場平山の葭雲神社を東に進んだところに少々小高い峰がある。そこに朝日城があったといわれている。

この城は、甲越の合戦の際、葛山城とつながり、のろしを挙げる見張りの出城であったといわれている。

9 **赤岩のトチの木**（市指定天然記念物）

樹齢約1300年と言われ、樹高40m、目通り12.6m、上方で7本に枝分かれしている。平成2年6月に全国各地から応募のあった2千数百本の名木・巨木の中から「新日本名木百選」に入選し、認定書を受賞。

根下にかつては百有余坪の平地があり、水神様と五穀豊穣、無病息災を祈って、この大樹の木を神木として祭り、祭事等が行われたという。

10 **荻野城跡**（市指定史跡）（標高1176m）

春日氏の詰め城（農後に逃げ込む城）があったと言われており、この峰は、やぐら峰とも言われている。

四方急坂にして標高1176mと高く、天然の要塞であり、今山頂には本郭、二の郭、腰郭等を残し、また、東峰(1184m)には、脇郭がある。県内でもこれに匹敵する高所の山城はその例を全く見ない。このような山城の形をその主残しているところは稀で、その意味で貴重な遺跡である。

11 **大平風穴**（蚕種貯蔵庫跡）

地下の空洞域の岩石層に地下水が浸透し、地下水は水滴となって岩石から岩石へ落下する。このとき蒸発作用が起きて気化熱を奪い岩石層内の温度が通常の地温より更に下がる。

この冷涼な空気が流動して岩石の隙間から吹き出る現象が風穴である。

風穴は冷涼な温度を利用して蚕種や食品の貯蔵などに利用された。

12 **地蔵岩**

杉の老木と共に苔むした巨岩がある。両側に六基の三十三番札所巡りの観音石仏と共に地蔵さんが祀られていることから地蔵岩の由来となっている。

岩の前にはわずかな平地があり詣を往来する人々の休息の場でもあったようだ。

13 **三十三番観世音**

観音石仏は、聖、十一面、千手、馬頭の4種類で、1ヶ所に三基づつ安置されており、11ヶ所に点在している。それぞれの石仏の背後には、御詠歌が切り刻まれており、台座の番号とともに信濃三十三番の札所のそれと一致しているようである。

三十三番観世音石仏は、文久3年(1863年)に、霊験あらたかな観世音菩薩の功徳と安らぎを求めて回り歩いた機会に、この地に寄進されたものと伝えられている。

地蔵岩 ルート

矢口と地蔵峠の間の三十三番観世音が
見守る観世音ルート

所要時間 約2時間

荻野城 コース

北信五岳を見渡す本陣と川中島平を
一望できる東詰があった物見詰におすすめコース

所要時間 約1時間30分

陣場平 スカイコース

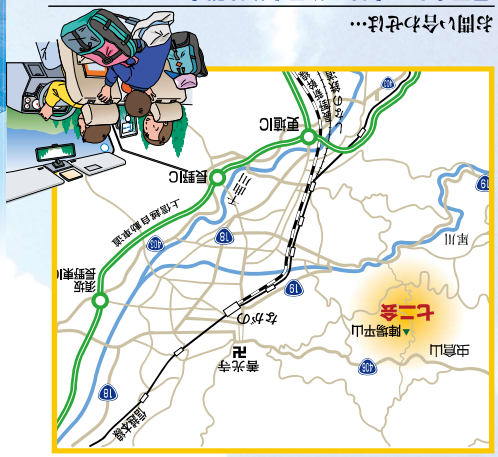
「おすそ刷」からの散歩を楽しむ
散策長6.2kmの散策コース

所要時間約3時間

自然を肌で感じる
ワンピッチトレッキング

七二会 陣場平 トレッキングコース

なにあい
じんばだいら



お問い合わせは…

長野市七二会地区住民自治協議会
phone. 026-262-1203

長野市七二会支所
phone. 026-229-2311

長野市立七二会公民館
phone. 026-229-2761

長野市商工観光部観光振興課
phone. 026-224-8316
e-mail: kankou@city.nagano.lg.jp

（公財）ながの観光コンベンションビューロー
phone. 026-223-6050
http://www.nagano-cvb.or.jp

この印刷物は、大豆油インクを使用、古紙配合率100%再生紙を使用しています。
R100 PRINTED WITH SOY INK

長野市

長野市北部に位置する陣場平山は、標高1,257mを主峰とし、西に1,143mの地蔵峠、東に1,247mの葭雲神社の峰等からなり、東西およそ2kmの山一帯をいい、そこからの眺めは、四方が見わたせる最高のロケーションです。

長野駅から国道19号線安茂里を通って、犀川沿いに瀬るところ10キロ。明治橋をを渡るとそこが七二会。

陣場平山一帯から、犀川に至る間に30余の集落が点在する、自然環境に恵まれたところです。

七二会の屋根、陣場平山1,257mからの眺めは、アルプスまで一望。
おいしい空気をいっぱい吸って、大自然の中へ、さぁ、出発!

NAGANO TREKKING ① 七二会陣場平

七二会の自然を肌で感じたいなら、何と言っても歩くのがいちばん。季節によってさまざまな表情を変える風景を眺め、風に揺れる草花など、美しい自然をウォッチングしながらの散策は最高!